

令和 2 年 3 月 31 日
気 象 庁 地 震 火 山 部

配信資料に関する仕様 No. 50301

～噴火警報・予報～

1. 概要

噴火警報は、噴火に伴って、生命に危険を及ぼす火山現象（大きな噴石、火砕流、融雪型泥流等）の発生が予想される場合やその危険が及ぶ範囲の拡大が予想される場合に、「警戒が必要な範囲（生命に危険を及ぼす範囲）」を明示して発表します。噴火警戒レベルを運用している火山では、噴火警戒レベルを付して発表します。

また、噴火警報の発表地域は、県境等をまたいで登山道や周辺道路規制などを実施するには、対象となる市町村等が連携して対応することが必要であることから、当該市町村ごとに別の警報で発表するのではなく、一通の警報の中で影響が及ぶ全市町村名を列挙して発表します。

噴火予報は、火山活動の状況が静穏である場合、あるいは火山活動の状況が噴火警報には及ばない程度と予想される場合に発表します。噴火警戒レベルを運用している火山では、噴火警戒レベル 1（活火山であることに留意）を付して発表します。

2. 仕様

(1) XML 電文のデータ種類コード

VFV050

(2) XML 電文に関する解説資料・コード表・サンプル電文等について

電文の詳細は気象庁防災情報 XML フォーマット情報提供ページに掲載しておりますので、そちらをご覧ください。

(http://xml.kishou.go.jp/tec_material.html)

3. 障害時やメンテナンス時の対応

システム障害等により、当該気象情報の作成が不可能となった場合、データの再送は行いません。あらかじめご承知おきください。